

会 議 録

会 議 名	令和6年度第1回東松山市介護保険運営協議会					
開 催 日 時	令和6年8月1日(木)		開会	14時00分		
			閉会	15時40分		
開 催 場 所	東松山市総合会館4階 多目的ホールB					
会 議 次 第	1 開 会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 委員紹介 5 条例等の概略説明 6 会長・職務代理者選出 7 議事 (1) 地域密着型サービス事業者の指定について (2) 地域密着型サービス(認知症対応型共同生活介護)基盤整備について (3) 令和5年度地域包括支援センターの実績報告について (4) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務委託先事業所の承認について (5) 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の実績について (6) 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について 8 その他 9 閉 会					
公開・非公開の別	公開		傍 聴 者 数	0人		
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠席状況	会 長	稲葉 一洋	出	委 員	加藤 美千代	出
	委 員	辻 守史	出	委 員	武田 耕典	出
	職務代理者	奥村 一彦	出	委 員	池田 寛之	出
	委 員	坂田 雅則	出	委 員	山田 昭彦	出
	委 員	美細津 綾	出	委 員	富井 芳己	欠
	委 員	大木 英生	出	委 員	須藤 博一	欠
	委 員	成田 浩一	欠	委 員	金子 一成	出
	委 員	中里 礼子	出			
事 務 局	健康福祉部部長 田嶋靖洋			健康福祉部次長 山口勉		
	高齢介護課長 左納徹			高齢介護課包括ケア推進室長 守谷信行		
	高齢介護課副課長 小林真樹			高齢介護課主査 望月真由美		
	高齢介護課主査 小島康洋			高齢介護課主査 小山真理子		
	高齢介護課主任 濱松敦子			高齢介護課主任 竹間智世		
	高齢介護課主任 山田佑貴			高齢介護課保健師 加藤民子		

次 第	顛 末
1 開 会	左納課長
2 委嘱状交付	山口副市長 代表として稲葉委員に交付
3 あいさつ	山口副市長
4 委員紹介	自己紹介
5 条例等の概略説明	小林副課長
6 会長・職務代理者選出	左納課長 事務局案により稲葉委員を会長に、奥村委員を職務代理者に選出
7 議 事	<p>(1) 指定地域密着型サービス事業者の指定について</p> <p>○事務局：小山主査 資料1を説明</p> <p>○稲葉会長 ありがとうございました。地域密着型サービス事業者、市内市外を合わせて7事業所が指定更新の期間を迎えたことにあたり、事後承認を受けたいとのことですが、事後承認については、会議開催期日を考えてとやむを得ないとかつての協議会の中で、了承しております。事後承認をいただきたいとのことですが、このことについて、質問、ご意見等ありますでしょうか。</p> <p>○委員一同 特になし</p> <p>○稲葉会長 ありがとうございます。それでは、第2の議題に移らせていただきたいと思います。</p> <p>(2) 地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）基盤整備について</p> <p>○事務局：小山主査 資料2-1、2-2を説明</p> <p>○稲葉会長 ありがとうございました。ご質問、ご意見等ありますでしょうか。</p> <p>○委員一同 特になし</p> <p>○稲葉会長 ありがとうございます。それでは、第3の議題に移らせていただきたいと思います。</p> <p>(3) 令和5年度地域包括支援センターの実績報告について</p> <p>○事務局：望月主査 資料3-1、3-2、3-3、3-4を説明</p> <p>○稲葉会長 ありがとうございました。昨年度の地域包括支援センターの実績報告でありま</p>

す。ご質問、ご意見等ありますでしょうか。

○辻委員

色々な相談を受けているようですが、職業柄、ご家族から高齢者の免許証の返納について相談を受けることが多いのですが、地域包括支援センターではそういった相談などはあるのでしょうか。

○望月主査

外出する際の足がないとか、これまで車を便利に使っていたのでなかなか手放せないという方のご相談などがあります。相談はそれぞれの地域包括支援センターで対応いたしますが、警察等と連携し、臨機応変に対応しております。

○稲葉会長

相談件数などは把握されていますでしょうか。

○望月主査

相談件数について把握していませんが、実感としましては、免許証の返納に関する相談については増えているという印象がございます。

○大木委員

資料3-1 1ページ 1) 包括的支援事業等の②総合相談支援事業の総合相談支援のべ件数12,598件と資料3-2 1ページ総合相談支援業務の各地域包括支援センターへの相談件数の合計が異なるのはなぜでしょうか。

○望月主査

資料3-2 1ページ総合相談支援業務の各地域包括支援センターへの相談件数は委託している地域包括支援センターの相談件数となりますが、直営包括も総合相談を受けておりますので、その件数を足すと、資料3-1に記載のある12,598件となります。

○稲葉会長

他にいかがでしょうか。よろしければ次に進めたいと思いますが、それでは、4番目の議題に移させていただきたいと思います。

(4) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務委託先事業所の承認について

○事務局：望月主査

資料4を説明

○稲葉会長

資料4 1ページ介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務委託先事業所の承認についてですが、小川町と川越市の事業所について事後承認を受けたいとの内容ですが、この件について、ご意見、ご質問はありますでしょうか。

ご意見、ご質問がないようでしたら、私から1つ伺いたいのですが、資料4 1ページ「居宅介護支援事業所の追加承認」について、①の事業所の指定年月日が令和5年4月1日で、開始日が令和6年3月1日と1年ほど期間がありますが、何か事情があるのでしょうか。

○事務局：望月主査

①の事業所は令和5年4月1日から開設をしておりますが、こちらの事業所を利

用していた方が当初、要介護の認定でしたが、その後、要支援に区分が変わりました。そのため、令和6年3月1日より再委託という形で引き続き担当させていただいております。

○稲葉会長

他にいかがでしょうか。よろしければ次に進めたいと思いますが、それでは、5番目の議題に移させていただきたいと思います。

(5) 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の実績について

○事務局：小林副課長

資料5を説明

○稲葉会長

ありがとうございました。第8期計画の進捗状況、実績についてですが、コロナ禍の影響が大きい中で、影響をはっきりと受けた事業と影響が比較的少ない事業があったとの印象ですが、ここでは、目標のあとに令和5年度の実績がありまして、実績について、○△×と自己評価をしています。今年の3月までの実績を点検して評価をしているものになります。

ご質問、ご意見等ありますでしょうか。

○大木委員

2ページの「地域包括支援センターの機能強化」について、自立支援型地域ケア会議の実施の中で、機能強化という言葉があったかと思いますが、その対象はだれになるのでしょうか。

ケアマネ会議などの中で、こうしてほしいなというものがありましたら、会議の中で話をしたいと思い、質問をさせていただきました。

○小林副課長

対象は地域包括支援センターが関わる各種課題を解決するための各種機能を強化したいと考えています。大木委員から例示のありましたケアマネの方も今年度から担当する人数が35人から44人になるなどの法改正があり、負担が増えていると聞いています。そういったことの解決につなげられればと考えています。

○成田委員

2ページの「健康づくりや介護予防の推進」について、体育館プログラムやサロンプログラムとあるのは、ハッピー体操のことでしょうか。

○山田主任

お見込のとおりです。

○成田委員

ハッピー体操は、20年近く前から行われており、できた当時のことを思い出しました。20年経過して、なお、参加者が増えているとの説明があり、うれしく思いました。

○武田委員

3ページにある「高齢者の居住安定に係る施策との連携」について、サービス付き高齢者住宅を利用している市内の方の人数や割合などは把握していますでしょうか。

サービス付き高齢者住宅の方が入院相談に来られると、市外の方が多く印象がありまして、市内の方が利用できているのかと思ひまして伺わせていただきました。

○小山主査

利用者数や定員は事業所のホームページなどで確認しているものとなりますので、市内、市外に居住している利用者の数については把握をしておりません。

○稲葉会長

他にいかがでしょうか。よろしければ次に進めたいと思いますが、それでは、6番目の議題に移させていただきますと思います。

(6) 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について

○事務局：小林副課長

資料6を説明

○稲葉会長

ありがとうございました。第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画についての概要についての説明がございました。

ご質問、ご意見等ありますでしょうか。

○辻委員

69ページの認知症サポーター養成講座について、小学生養成講座とありますが、これは、小学生に認知症について、知ってもらうことを目的としているのか、または小学生に何かアクションしてもらうものなのかをお聞かせください。

○望月主査

認知症サポーター小学生養成講座については、市内11か所の小学校の4年生から6年生を対象として、認知症の知識を高めてもらうことを目的に実施しています。特に何かをしなければならないということではなく、認知症の知識を高めてもらい、近くに認知症の方がいらっしゃった際に見守りをさせていただくことが主な目的です。

○辻委員

家族の構成としておじいちゃん、おばあちゃんと一緒の世帯の小学生が少なく、昔ほど子どもとおじいちゃん、おばあちゃんとの接触が多くないように感じます。私のところで行っているデイサービスで、小学生を呼んで、利用者さんと交流させたら、おじいちゃん、おばあちゃんが喜んだんですね。なので、知るだけでなく、何らかのアクションができるような施策があるといいなと思ひ伺いました。

○稲葉会長

東松山市では福祉教育の分野が盛んで、学校や地域、社協などよい取組が多くありますが、認知症サポーター小学生養成講座は始められてまだあまり期間がたっていないと思ひますが、始められてどのくらいでしょうか。

○望月主査

令和元年度から学校数3か所で開始し、市内全校での実施は令和4年度からとなります。

